

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年2月21日（月）

2 確認箇所

- ・ 2・3号間山側道路横断部下部陸側遮水壁設備
- ・ 2号機原子炉建屋南側ヤード

3 確認項目

- (1) 陸側遮水壁設備におけるブライン漏えい事象の対応状況
- (2) 2号機燃料取出し用構台設置に向けた準備工事の進捗状況

4 確認結果の概要

- (1) 陸側遮水壁設備におけるブライン漏えい事象の対応状況について

2月15日に確認された2・3号間山側道路横断部下部に設置されている陸側遮水壁設備のブライン（冷媒）供給配管接続部からの漏えい事象^{*}の対応状況を確認した。（図1）（写真1）（前回確認日：2月16日）

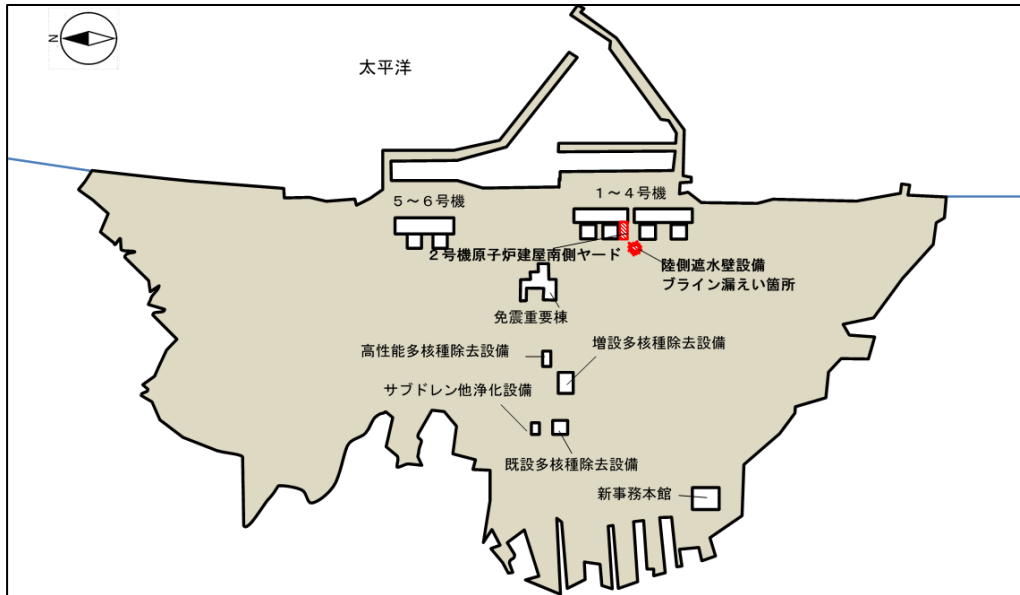
- ・ 漏えい箇所の接続配管においてずれが確認されたゴムリングの交換は終了し、カップリングジョイントが取り付けられており、現地確認時（11時20分頃）には、リークチェックのためにブライン液を配管内に充填する作業が行われていた。（写真2）
- ・ 東京電力によると、2月21日22時27分にブライン供給を再開し、設備に異常がないことを確認したとのことであった。

※ブライン供給配管接続部からの漏えい事象：2月15日10時40分頃、千島海溝津波による陸側遮水壁のブライン漏えいリスクの低減を目的に追設しているブライン配管電動弁の動作試験のため陸側遮水壁設備を停止したところ、2系統に分かれている陸側遮水壁設備のうち、一つの系統のブラインタンク2基（プラント2系の2A、2B）において水位が低下していることが確認され、その後の陸側遮水壁設備の現場確認において、同日16時ごろ、2・3号間山側道路横断部下部に設置されている陸側遮水壁設備（6BLK-H1ブライン配管送り側（母管））の接続部からブラインが漏えいしていることが確認された事象。

2月17日、漏えい箇所のカップリングジョイントを取り外し配管の連結状況を調査したところ、配管接合部のゴムリングのずれが確認されたことから、当該ゴムリングを取り替えたうえでカップリングジョイントで配管を連結し復旧することとしていた。

なお、ブラインタンクの水位低下が確認されていない系統（プラント1系）については、2月15日16時08分に運転が再開されており、2月18日11時15

分には、ブライン漏えい箇所復旧までの暫定措置として、運転中のプラント1系から連絡弁を介して停止中のプラント2系の一部へブラインを供給する措置がとられた。



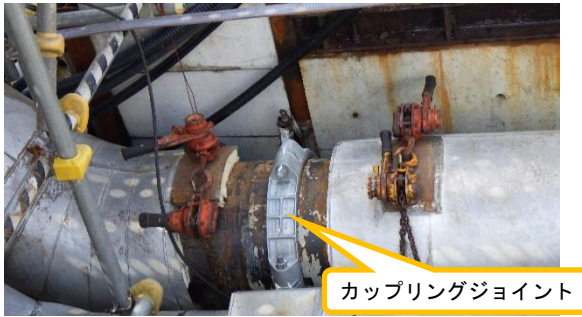
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
2・3号間山側道路横断部の概観
(東側から撮影)
※ブライン漏えい箇所は黄色のタンクの裏側(西側)



(写真2)
2・3号間山側道路横断部下部の陸側遮水壁設備の状況
(北側から撮影)



(写真3)
漏えい箇所の復旧状況
(東側から撮影)

(2) 2号機燃料取出し用構台設置に向けた準備工事の進捗状況について
前回(令和3年11月8日)に引き続き、2号機原子炉建屋南側ヤードにおいて進められている2号機燃料取出し用構台の設置に向けた準備工事の進捗状況を確認した。(図1)(写真3)

- ・2号機原子炉建屋南側ヤード内に地盤改良機が2台搬入されており、ヤード中央部において地盤改良工事が行われていた。(写真3、4)
- ・東京電力によれば、地盤改良工事は、支持層GL-14.3mからGL-4.8mまでの約10mの区画を最下層から改良材(セメント+水)を高圧噴射することで改良体を攪拌造成する工法で実施しており、4月に完了する予定としている。



(写真3)
2号機原子炉建屋南側ヤード概観
(南西側から撮影)



(写真4)
地盤改良工事の施工状況
(南側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。